

今月の便り

海外のナナカマド

今回は海外のナナカマドのうち、実際に栽培・育成した種類の中からいくつかをご紹介します。一番代表的な種類はヨーロッパナナカマド（アウクパリア種）で、多くの栽培品種と種間交雑から生まれたものがあります。秋になると人目を引く実は色が様々で、基本種には中国中北部原産で淡い桃色のフペンシス種、白い実のカシミリアナ種（中国南部高原地域）など、栽培品種では黄実や白実のものがあります。多くは実の色はオレンジ色ですが、ジャムやジュレなどの食材として使われる栽培品種もあります。葉の形や色に特徴のある種類にも注目です。単葉（一枚葉）のアリア種には、表面の毛により灰白色帯びた葉を持つ栽培品種、羽状複葉のアウクパリア種と交配して葉の形が両方の特徴を兼ね備えもの、樹形が卵形に整うので街路樹やシンボルツリーに適した種類もあります。さて、北ヨーロッパでは昔から魔除け、神秘のシンボル、縁起物として板材や十字架などに加工されたり、良質な薪の材料として重宝されてきました。現代でも人々の生活に深く関わっている樹種のひとつといえます。

（かわはら）

新年あけましておめでとうございます。

新しい年の始まりは白銀の世界ですね。長い冬の間嫌なコロナが消えてくれればいいななんて思ったりする連日です。植物が雪の中で休眠している庭を眺めながら、初春のイメージがふつふつと湧いてくることになります。さて今年はどうなガーデニングの季節を迎えることになるのでしょうか。趣味の園芸に「北の大地のシクラメン」として紹介紹介されていた隣町の育種家の皆さんのシクラメン栽培が紹介されていました。進化するシクラメンとして彩りの少ない冬に花色も花形もバリエーション豊かなシクラメンが発売されています。プロが手間と時間と愛情をかけて生み出した自信作を厳選。身近な場所で栽培されている「シクラメンの彩り」を楽しむのも良いと思います。春まで長く楽しむのには、置き場所は玄関など暖房の効いていない室内が理想。肥料は少なめを心がけ葉が黄色くなり始めたら取り除く、色が褪せた花は早めに摘み取るなど注意をしましょう。（たかはし）

冬の花シクラメンの思い出

シクラメンの花は11月頃から春まで咲き続け、花の少ない季節に室内を明るくしてくれる冬の代表的な花ですが、この花を見つとつい口ずさむ、昭和の名曲「シクラメンのかほり」を思い出するのは老いた私だけでしょうか。歌詞からイメージさせる花の姿は人々を魅了しています。ところで、歌で広がった「シクラメンのかほり」と「かをり」「かおり」「かほり」どう違うのか気になり調べたところ「かをり」は旧仮名遣い、「かおり」は現代仮名遣い、「かほり」は間違えた表記のようですが、類語の「匂い」は、旧仮名遣いでは「にほひ」です。発音は「におい」。「かおり」を「かほり」と表記する似非歴史的仮名遣いは、「お」と発音する「ほ」の例から誤って導き出されたものではないでしょうか。ともあれ、「シクラメンのかほり」の作詞・作曲は小椋桂。東京大学法学部卒という経歴から、正しい歴史的仮名遣いを知らなかったとは思えないので、特別な意図があって「かほり」としたのでしょう。作者のみ真実を知るところでしょう。さらに調べると、小椋桂の奥様の名が「桂穂里(かおり)さん」です。考えすぎでしょうか。（ながやす）

イチヨウ

秋に色づくことで存在を意識されるイチヨウは、「生きている化石」です。約1億5000年前、中生代のジュラ紀に地球上各地で全盛期だったことが化石からわかっています。そして現在のイチヨウは氷河期など地球変動でかろうじて生き延びた中国の種がルーツだと言われています。強健で樹形も美しいので街路樹として極地方や赤道付近以外の世界各地で人気です。北海道庁前のイチヨウ並木をはじめ、岩見沢の街中でも秋の黄金色は私たちを楽しませてくれます。どうぞ観察もしてみてください。雌雄異株なので、銀杏がなるものとならないもの、また、個体によって葉の切れ込み方もいろいろ違います。1000年を超えているような本州の古木には雄株で乳と呼ばれるデンプン質がたれさがっているものや、「お葉つきイチヨウ」と言って葉の縁に実が着くものなどで様々な伝承付きの個体もあります。絶滅の危機からイチヨウが復活してからはいつも人の生活の近くにある木ならではのことでしょう。(きのした)

カランコエ

カランコエは、種類が大変豊富で、大別すると花を楽しむタイプと、多肉質の葉を楽しむタイプに分かれます。多肉植物タイプでその姿や育てやすさで人気のあるウサギの耳、～兎耳シリーズの中からおめでたい名前がついた「福兎耳」をご紹介します。「福兎耳」は、平たい肉厚の白い毛で覆われた美しい葉が特徴で、群生しやすい品種です。新葉は真っ白でとても美しく、葉が大きくなるにつれて緑がかってきます。小さなピンクの花も咲きます。「福兎耳(ふくとじ)」は、「～兎耳」という名前から「月兎耳(つきとじ)」の枝変わりの一つと間違われることが多いのですが、福兎耳(カランコエ・エリオフィラ)と、月兎耳(カランコエ・トメントーサ)は別の種類になります。月兎耳は変異種が多く30種以上になるといわれ兎年の今年、育ててみるのも面白いでしょう。どちらも非常に丈夫で初心者向けですが寒さには弱く5℃までなので冬は室内で育てます。また多湿にも弱いので水のやりすぎには注意してください。これらの種類は増やすのも容易で葉挿しや挿し木、水挿しもできます。(いとう)

シクラメンの育て方 Q&A

Q 購入の際、日の当たる窓際で管理してくださいと言われてたので、日差しが入る窓際に置いて楽しんでいたら、5日位前から花も葉もぐったりしてきた。

A 日差しの当たる場所に置くとよく言われますが、必ずしもそうではありません。販売店で置いてある場所が、日の差し込む場所ならいいのですが、苗から育成している場所はほとんどが薄日の当たる場所で、販売店では室内又はテントハウス内で販売していて、購入するまでは、薄日の当たる場所です。購入して日の当たる場所と言われてたからと言って、いきなり直射日光を当てると、急激な環境変化でストレスにより弱ります。また温度も、冬期間は室内温度が、店舗などと異なり暑ところで管理すると、これもストレスの原因です。置き場所は日当たりのいい窓際に置きレースのカーテンなどで、薄日にしてください。管理温度は、最高温度20℃から最低温度は5℃と言われています。室内温度は20℃でも、窓際で日差しの強いとは異常に温度が上がるので要注意です。

Q 窓際に置いていたシクラメンが傾いたような姿になった

A 置きっぱなしにしないでください 光の方向に伸びるので、定期的に鉢の向きを変えてください

Q 一度水切れをしてしまったシクラメン、復活はしたけどなんだか元気がないようです。

A 一度水切れをした莖は変な癖が付いたままになってしまいます。しおれたときは新聞紙で葉を上にした状態ですべてくるむように巻き、そのままバケツで水を吸わせると、数時間で元のような姿になります。

チョット
いっぷく



ひとつき ひとバラ

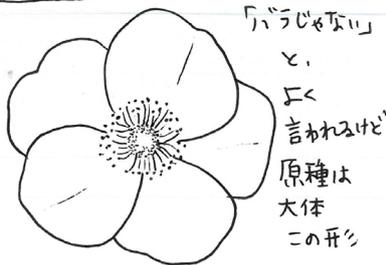


文・絵：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)

特別編 保存版! ?バラ鑑賞が楽しくなる! バラのかたちあれこれ~花卉の数と形編~

◎花卉(花びら)の数

一重咲き



花びらが5枚。

「バラじやない」と、よく言われるけど、原種は大体この形。

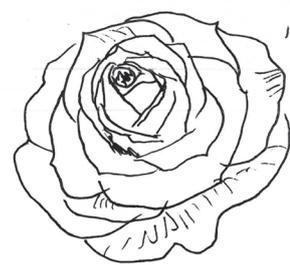
半八重咲き



花びらが6~20枚くらい。

「これくらいがちょうど良い」>>> 「花びら足りない」>>> 3/4に分れる。

八重咲き



花びらが20枚以上。

バラといえは、このたくさん花弁

花卉の数によって主にこの3種類に分類されます。今やバラといえば八重咲きが当たり前のようになっているので、わざわざ「八重咲きの～」とはあまり言いませんね。

◎花卉(花びら)の形

剣弁 エlegant!!



花弁の尖がとがる。

花弁が反れて剣のふらになる。

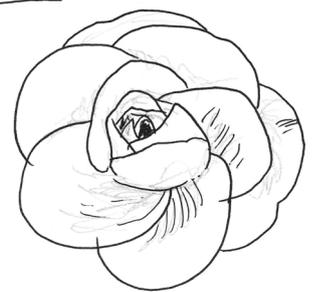
半剣弁 可憐♡



花弁の尖がややとがる。

剣弁より丸みがある。

丸弁 おいとやわ~♪



花弁の尖がまるい。

波状弁 ゴージャス!



花弁が波うつ。

少ない花弁でもボリュームがある。

花卉の形は主にこの4種類ですが、シャクヤク咲きやカーネーション咲きと呼ばれ、切れ込みがある花卉もあつたり、育種が進化しバラの形は多岐にわたっています。形の呼び方を覚えておけば、ご自分の好みも伝えやすいかもしれません♪バラの時期にはこのページ片手にバラ鑑賞をして『これは半八重咲きの波状弁だね~』などと是非知識をひけらかしてみてください(笑)

また機会があれば、バラ(花)の形や模様など解説していきたいと思つています!
それではみなさま本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



- 1月15日(日) 10:00~12:00 折り紙でバラをつくろう 初級
料金:無料 定員:15名 講師:バラ園スタッフ
持ち物:筆記用具、おりがみ
- 1月22日(日) 10:00~12:00 飾ってたのしい植物画~観葉植物編~
料金:1,000円 定員:10名
講師:木下京子さん フラワーマスター
持ち物:筆記用具、スケッチブック、パレット、ふで(丸筆大・小)

《予告》 ※お申込みは2/1 9:00からお願い致します。

- 2月12日(日) 10:00~12:00 折り紙でバラをつくろう 中級
料金:無料 定員:15名 講師:バラ園スタッフ
持ち物:筆記用具、おりがみ
- 2月26日(日) 10:00~12:00 花をタネから育てよう
料金:500円 定員:10名 講師:バラ園スタッフ
持ち物:筆記用具

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話:0126-25-6111 ホームページ:<http://www.iwamizawa-park.com/>

※材料費のかかる講座は、講師の方の準備等の都合上、開催日3~4日前までにお申込みをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

× マスクの着用がない方 × 37.0℃以上の熱がある方

上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

- ・連絡なしの欠席・遅刻はお申込みをしたい方のご迷惑となりますので、ご遠慮ください。事前申し込み無しに当日に飛び入り参加される方は、定員制限などの関係から受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・密集を避ける為、各講座の定員につきましては予告なく変更する場合がございます。
- ・換気の為、窓・扉を開放いたします。暖かい格好でお越しください。
- ・密接を避けるため、講座中の私語は謹んでいただきますようお願いいたします。